

## 一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内  
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1 ダイキン工業 (株) 淀川製作所  
TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865 油機事業部内

### 第 7 4 回理事会開催

第 74 回理事会が、4 月 17 日 (金) の 15 : 25 ~ 17 : 05 までの間、東京プリンスホテル 11 階の「高砂」の間で開催されました。初めに事務局から理事の出席状況について理事総数 29 名のうち、出席理事 19 名及び監事 2 名の出席があり、定款の定めるところにより本理事会が有効に成立している旨報告し、議長に会長が就任し議事が進行しました。当日は、来賓として経済産業省製造産業局産業機械課の服部産業機械課長補佐及び中嶋産業機械課係長の 2 人がご臨席され、服部産業機械課長補佐から、①エネルギー使用合理化等事業者補助金制度 (平成 27 年度予算額 410 億円)、②福島県への企業立地の 2 点について資料を用いて詳細な説



第 74 回理事会

### 主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 74 回理事会開催・・・・・・・・・・	1	広報・PR 事業・・・・・・・・・・	7
平成 26 年度の事業・経理監査の実施・・	4	中小企業関連事業・・・・・・・・・・	7
委員会開催・活動状況		振興対策事業・・・・・・・・・・	8
国際交流事業・・・・・・・・・・	4	会員ニュース・・・・・・・・・・	8
標準化事業／ISO 対策事業・・・・・・・・	5	工業会ニュース・・・・・・・・・・	9
標準化事業／規格事業・・・・・・・・	6	統計資料・・・・・・・・・・	13
技術調査事業・・・・・・・・・・	6		

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL <http://www.jfpa.biz/>

明があり、ぜひ制度を活用頂きたい旨の要請もありました。その後、議長は議事録署名人として定款で定められている当会監事の澤田監事及び古川監事の兩名を指名した後審議に入り、提案された第1号議案、第2号議案及び第3号議案は承認されました。

#### 第74回理事会議案

1. 平成26年度事業報告及び収支決算（案）の件
2. 平成27年度の収支予算修正（案）の件
3. 60周年記念事業の進め方（案）の件
4. その他の件

はじめに資料3号で60周年記念事業の進め方について「60周年記念事業準備委員会」で審議した内容を説明した。次に資料1号で平成26年度事業報告書（案）の概要を以下の通り説明した。

#### 1. 需要対策事業

- ①総需要委員会のもとで平成25・28年・年度の油空圧機器需要見通しを作成し、会員企業や関係者に配布した。なお、今年度の見直し作業は中止した。
- ②油空圧機器の受注・生産・需要部門別出荷・輸出入等需要動向等に関する調査を実施し、月報や機関誌・事業報告書等に掲載し関係者に配布した。
- ③需要業界等関連団体の情報や統計資料を迅速に収集し関係者に提供した。
- ④その他需要対策に必要な事業を実施した。

#### 2. 国際交流事業

- ①9月に実施したIFPEX2014開催に併せて国際交流委員会委員長主催で、台湾フルードパワー工業会の王会長、トルコフルードパワー工業会のアブドラ・パーラー理事他台湾・中国等からの出展者を招き、意見交換を行った
- ②平成27年4月に開催されるハノーバーメッセと欧州日系企業視察のための視察団派遣の準備を進めるとともに、ハノーバーで開催される国際油空圧サミット及びISC委員会に参加するための諸準備作業を行った。  
PTC-ASIA 2014(中国・上海)及びMDA-INDIA 2014(インド・ニューデリー)へのカタログ共同出展については、参加希望が少なく中止した。
- ③海外帰国者から、最新の現地情報を聞く講演会を4回実施した。
- ④Fluid Power Industry in Japan 2014年版を発刊した。なお、次年度以降は、2年毎に発刊することとした。
- ⑤平成27年2月18日に日本機械輸出組合の谷口正樹様による「日本企業がアジアで直面する貿易・投資障壁と自由化・円滑化対応」（中

小企業委員会との共催）と題した講演会を開催した。

- ⑥TPPやEPA・FTA等の締結交渉等が行われており、METIとも連携し会員企業へ迅速に情報提供を行うとともに必要に応じ調査を行う等適切に対応した。
- ⑦会員企業の海外進出状況調査を行うとともに安全保障貿易管理等についての情報や資料の収集を行い迅速に提供した。これらは、当会HPにも掲載して広く情報を提供した。
- ⑧韓国で提訴があった空気圧バルブに関するADに対応するための連絡会を立ち上げ、情報の共有化等を図った。
- ⑨その他海外からの問い合わせ等国際交流に必要な事業を実施した。

#### 3. 標準化事業

##### イ) ISO対策事業

- ①ISO国際会議へ参加するとともにISO規格回答原案作成事業を実施した。
- ②幹事国業務：ISO/TC131/SC7（密封装置：翻訳、通訳業務等
- ③わが国提案のISO規格化への推進
- ④本年5月に沖縄でISO131の国際会議を開催するための諸準備作業を行った。
- ⑤水圧技術に関する国際標準化事業を推進するための、諸準備作業を行った。

##### ロ) 規格事業

- ①平成26年4月審議開始分のJIS1件について検討・審議し、改正案を提出した。
- ②平成26年8月審議開始分1件が採用された。
- ③平成26年12月審議開始分1件が採用された。
- ④平成26年度は、2件のJISが発行された。
- ⑤平成26年度は、2件の団体規格を制定した。

#### 4. 技術調査事業

##### 1) 油圧部会及び空気圧部会

- ①両分科会の活動に係る諸事項の企画調整を行った。
- ②フルードパワー産業活性化のための小冊子「フルードパワーの世界～追補版～」を出版するとともに全国の工業高等学校、工業高等専門学校等に継続配布した。
- ③フルードパワー業界活性化のため、油圧及び空気圧機器並びに油圧システム・空気圧システム等に関する業界共通の技術的課題提供につながる技術講演会を実施した。
- ④産学連携事業推進の一環として、IFPEX2014において工業高等学校の生徒及び工業高等

専門学校・大学の学生を対象に学生ツアー実施した。

- ⑤油圧機器業界及び空気圧機器業界の若手技術者懇談会を開催した。
- ⑥空圧機器業界の知的財産に関する事業を推進するため特許分科会を開催した。
- ⑦RohsやReach規制等グリーン調達に関する情報収集を行ったが、会議の開催はなかった。
- ⑧中央職業能力開発協会の要請を受け、中央技能検定委員を推薦した。また、永年に亘る当会の中央職業能力開発協会事業（油空圧技術部門）への貢献が評価され、平成26年11月19日に厚生労働大臣表彰を受賞した。西日本支部では、技能検定委員2名及び技能検定成績優秀者1名に対して大阪府職業能力開発協会から表彰を受けた。
- ⑨その他油空圧に関する技術問題等に対応した。

## 2) 水圧部会

- ①部会を構成する3グループ（HP・技術資料・ADS普及）の企画調整を行った。
- ②フルードパワー産業活性化のための小冊子「フルードパワーの世界～追補版～」を出版するとともに全国の工業高等学校、工業高等専門学校等に継続配布した。
- ③水圧機器の国際標準化事業を推進するための、諸準備作業を行った。
- ④IFPEX2014の水圧コーナーで、動態展示を中心とした出展及び関連資料の配布を行い、水圧技術（ADS）の普及促進を図るとともに、HP・水圧ブログの拡充運用を図った。
- ⑤国内及び海外の水圧技術に関する現状調査や資料収集等を行った。
- ⑥新St-ADS事業のNEDOプロジェクト化を推進したが、水圧部会の自主事業として取り込むこととした。
- ⑦その他水圧に関する技術問題等に対応した。

## 5. 広報・PR事業

- ①工業会の毎月の活動状況等を取り纏めた「月報フルードパワー」を関係者に電子配信するとともにHPにも掲載し広く広報・PRに努めた。
- ②機関誌「フルードパワー」（季刊）を継続発行し、フルードパワー産業に関する各種最新情報および話題、関連業界の動向、工業会活動報告等を広く情報提供した。特に、平成26年度は春号・夏号をIFPEX2014関連特集号として発刊した。
- ③Fluid Power Industry In Japan 2014版を会員企業やJETRO・海外諸団体等へ配布した。

④工業会のホームページを刷新して利便性を高めた。

- ⑤平成28年度に60周年記念行事を行うための諸準備作業を行った。
- ⑥その他広報・PR活動に関する事業を推進した。（その他事業）

## 6. 中小企業関連事業

- ①需要業界動向等や中小企業施策等の動向についてMETI等と連携して迅速に情報を収集し中小企業委員会のメンバーに提供するとともに中小企業委員会を年4回開催した。委員会では、会長講演、国際委員会と合同での「日本企業がアジアで直面する貿易・投資障壁と自由化・円滑化対応」及び「今後の中小企業政策について」講演会を開催し、更に、「3Dプリンターのものづくりへの応用」と題する講演会を会議に先立ち開催した。
- ②中小企業委員会傘下の「次世代の経営を考える会」では、8月に「ファナック本社工場」平成27年2月に「ローム本社工場」の視察及び意見交換会を開催した。
- ③中小企業を支える福利厚生事業の「共済制度」を拡充するため参加企業の拡大を図った。
- ④中小企業委員会傘下のWGメンバーによる国内研修視察団を編成し、10月に九州の地熱発電所及び関連企業の視察と意見交換会を開催した。
- ⑤その他中小企業の振興に係る事業を実施した。

## 7.) 振興対策事業

### 1) 振興対策

- ①産機・建機合同部会及びシリンダ部会は年6回、空気圧本部会は年4回開催し、競争と協調のもと秩序ある業界体制の確立を図った。
- ②地域経済の環境変化に対応するため、各地区部会や支部会も適宜開催するとともに、本部委員や事務局からも出席して意見交換を行った。
- ③国内外の需要動向等に関し情報収集を行い、関係部会に迅速に提供した。
- ④第24回IFPEX2014（平成26年9月17日（水）～19日（金）の3日間）を開催するとともに「水圧コーナー」を30小間に拡大・運営し、さらに「ハッピーアワー」を新設し来場者と出展社等の意見交換会の拡充を図った。
- ⑤第27回JIMTOF2014（平成26年10月30日（木）～11月4日（火）の6日間）の開催に伴い会場内に工業会ブースを設置し、来訪者への便宜供与を行った。
- ⑥その他業界の振興に係る事業を実施した。

## 2) PL 対策

- ①PL 保険制度の基盤を強化するため、ワールドインシュアランス社等と連携し加入会員を増加させるための未加入会員への情報提供を行う等広報・PR 活動を行った。
- ②内外の PL 情報を収集し会員企業に迅速に提供した。
- ③「賠償責任リスク定量評価を活用した経営管理支援セミナー」をテーマに 10 月に講演会を開催した。
- ④製造業者 E&O(経済損失カバー)については、当初 国内事故のみカバーを検討していたが、会員企業の要望から海外事故もカバー出来るスキームを構築すべくワールドインシュアランス社と意見交換を行った。
- ⑤その他の PL 関連情報の収集と提供等 PL 対策に係る事業を推進した。

## 3) その他事業

- ①生産性向上設備投資促進税制の証明書発行機関として、当会が政府に登録されたことを受けて、その証明書の発行業務を行った。
- ②平成 26 年度補正予算の「地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金制度」の証明書発行団体登録を行った。
- ③官公庁や関連団体等からの各種調査等の実施依頼と取りまとめ作業を行った。
- ④年始会や総会及び西日本支部総会並びに懇親ゴルフ会等を開催した。産学連携事業の一環として、大学、高専等の先生方を年始会、総会、西日本支部総会等の懇談会に招待した。
- ⑤西日本支部の活動を支援した。
- ⑥その他本会の目的を達成するために必要な事業を実施した。

さらに資料 1 号で平成 26 年度の収支決算書(案)の概要を以下の通り説明した。

平成 26 年度の総収入額は、121 百万円強で、これに対し支出は各項目とも節約に努めた結果、事業費支出で 68 百万円強、管理費支出で 34 百万円強となり、事業活動収支差額は、19 百万円弱の黒字となった。一方、投資活動収支差額で 5 百万円強の赤字が出たが、当期収支差額は 14 百万円弱の黒字となり、さらに前期繰越収支差額が 22 百万円強あったため、全体では次期繰越収支差額が 36 百万円弱まで積み増せた。この結果を 4 月 14 日(火)に開催した監事による事業監査で詳細に説明して、承認を得た旨説明した。次に議長は、監事に対し監査報告を求め古川監事から監査報告があり、議長は本件を議場に諮り、1~2 の質疑応答の後、異議なく承認された。次に議長は第 2 号議案の

報告を求め、事務局から資料 2 号で去る 1 月に開催した第 73 回で承認された平成 27 年度の収支予算について、変更箇所を中心に報告し、議長は本件を議場に諮り、質疑応答の後、異議なく承認されました。なお、第 1 号議案は、5 月 14 日(木)に開催される定時総会で決議され、第 2 号議案は報告される旨発言があった。第 4 号議案については時間の関係で説明を省略し、理事会は終了しました。

その後、産学連携事業として、(一社)日本フルードパワーシステム学会の理事の先生方等 13 名を交えた懇親会を開催し、和気あいあいのうちに散会しました。

## 平成 26 年度の事業・経理監査の実施

日 時 4 月 14 日(火) 10:00 ~ 11:50

場 所 当会会議室

出席者 澤田監事・古川監事

事務局 藤原、鎌原、

議 事

平成 26 年度事業及び収支決算に関する監査が 4 月 14 日(火)に当会会議室で行われた。当日は、澤田タイヨーインターナショナル社長及び古川税理士の両監事に事務局から平成 26 年度の事業報告書及び収支決算書(案)を詳細に説明した。その後、両監事はパソコンを含む諸書類及び諸帳簿並びに残高証明書等を詳細にチェックし、正確・適正に処理されている旨の講評がありました。

## 委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~

国際交流事業

~~~~~

## 国際油空圧サミット及び ISC 委員会

日 時 4 月 14 日(火) 10:00 ~16:30

場 所 ハノーバーメッセ会場内会議室

出席者 澤田啓支朗委員長代理以下 1 名

事務局 堀江

第 36 回フルードパワー国際油空圧サミット会議が、メッセ会場内コンベンションセンター13/14 会議室にて開催された。日本から国際委員会の澤田啓支朗委員(委員長代理)と事務局の堀江及び日本フルードパワーシステム学会の藤谷事務局長の計 3 名が参加した。

当日は、午後から 16 ヶ国・52 名が参加して国際サミット会議が開催された。(独)VDMA 会長の Mr.

Christian H. Kienzle の開会挨拶に続き、ISC 国際統計委員会会長の Dr. Amadio Bolzani からグローバルするフルードパワー産業の概要説明があり、次に各国団体からの経済動向とフルードパワー産業の状況報告、最後に国際統計委員会からの油圧・空気圧の2013年と2014年の集計結果と両年度を比較分析したスピーチが行われました。日本からは、澤田委員長代理が、a. 2014年の油圧及び空気圧機器の出荷額が減少した状況、b. 油圧機器の市場状況、c. 油圧の輸出状況、d. 空気圧機器の市場状況等について報告し、2015年の見通しについては油圧は微減、空気圧は微増で推移するものと見ている旨説明しました。



国際サミット（澤田啓支朗委員長代理のプレゼン）

また、午前中開催された国際統計委員会（ISC）では10カ国・19名が参加し、①2014年（暦年）の各国の国内販売金額等の内容分析、②月毎の前月比比較（up・same・down）の活用、（任意の為、米国、日本は提出せず）、③インド、韓国等のISCへの加入呼びかけ等が討議された。最後に次回会議の候補地等について討議した結果、次回の国際サミット会議及び国際統計委員会は、2016年10月に中国・上海で開催する予定。

なお、今回会議の資料は事務局で保管しておりますのでご利用されたい方は、堀江国際部長までご連絡ください。

~~~~~  
 標準化事業／ISO対策事業  
 ~~~~~

#### 油空圧シール分科会

日時 4月10日（金）13:30～16:30  
 場所 機械振興会館 B1-3 会議室  
 出席者 川口主査以下12名  
 事務局 千葉  
 議事

川口主査の議事進行により前回議事録及び資料確認を行った。まず、シール分科会の平成26年度活動報告及び平成27年度活動計画（案）について説明があり承認された。

次に、JIS B 8395:2010の見直し案に関して審議した。つづいて、工業会規格 JFPS 1017「シールの用語」の見直し案についての審議を行った。

最後に、ISO関連事項として投票に掛かっている米国のISO 3601-2の修正案を承認するか否か、日本の対応について討議し、反対投票をすることにした。コメントは前回提出のコメントを若干修正して提出する。

次回開催：7月3日（金）機振会館 B3-3 会議室

#### 流量測定分科会

日時 4月17日（金）13:30～17:00  
 場所 機械振興会館 1-3 会議室  
 出席者 妹尾主査以下7名  
 事務局 千葉  
 議事

前回議事録確認後、妹尾主査より、米国のバーニンガーから提案のあった空気圧バルブのエネルギー測定についての説明があり日本の対応について検討した。続いて、5月に開催されるISO/TC131/SC5/WG3 沖縄会議のアジェンダに基づきそれぞれの議題の説明を行った。

続いて、昨年8月にスタートとしたISO 6358-1のJIS原案作業について審議し、事業を完了した。  
 次回開催：6月19日（金）機振会館 5S-4 会議室

#### 空気圧バルブ分科会

日時 4月22日（水）13:30～16:00  
 場所 機械振興会館 1-5 会議室  
 出席者 土澤主査以下5名  
 事務局 千葉  
 議事

今回よりコガネイの土澤委員が主査を務める。前回議事録確認後、平成26年度活動報告及び平成27年度活動計画（案）について説明があり承認された。

次に、5月に行われるISO/TC131/SC5/WG3 沖縄会議のアジェンダにこの分科会に関連する議題が4項目あったのでそれぞれについて対応を協議した。

続いて、今年度も引き続き検討テーマとなる最低作動圧力の確認方法について審議した。  
 次回開催：6月25日（水）機振会館 1-5 会議室

#### 空気圧調質機器分科会

日時 4月24日（金）13:30～16:30

場 所 機械振興会館 1-5 会議室  
出席者 小田主査以下 6 名  
事務局 千葉  
議 事

前回議事録確認後、平成 26 年度活動報告及び平成 27 年度活動計画（案）について説明があり承認された。

続いて、5 月の ISO 沖縄国際会議に向けて、サイレンサーの騒音試験の国内ラウンドロビン試験結果の評価について説明があり、5 月の会議資料として提出する。また、ISO 5782-1 空気圧フィルター濾過度試験方法について審議し、これも 5 月の会議資料として提出する。

ISO:6301-2 の定期見直し審議を行い、分かりにくい点をコメントとして提出することにした。

最後に、ISO 10094-1 の翻訳文について検討審議した。

次回開催：6 月 26 日（金）機振会館 1-5 会議室

ポンプ・モータ分科会

日 時 4 月 27 日（月）14：00 ～ 16：00

場 所 機械振興会館 6-61 会議室

出席者 馬場主査以下 9 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、平成 26 年度活動報告及び平成 27 年度活動計画（案）について説明があり承認された。

続いて、分科会に関連する ISO/TC131/SC8 の新しい動きについて説明したあと、投票に掛かっている ISO4391、ISO10767-2 及び ISO10767-3 定期見直しの審議を行った。基本的には Confirm とし、問題点をコメントとして提出する。最後に、主査が委員として出席している油脂委員会からの情報提供があった。

次回開催：9 月 機械振興会館会議室

~~~~~

標準化事業／規格事業

~~~~~

制御技術分科会

日 時 4 月 16 日（木）13：30 ～ 16：00

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 田中主査以下 4 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、平成 26 年度活動報告及び平成 27 年度活動計画（案）について説明があり承認された。

次に、前年度からの引き継ぎテーマである JFPS 2010 空気圧-圧力スイッチ用語の見直し案についての規格の体裁など懸案事項を審議した。  
次回開催：9 月 10 日（木）機振会館 1-5 会議室

~~~~~

技術調査事業

~~~~~

実用油圧ポケットブック編集委員会

日 時 4 月 15 日（水）15：00 ～ 16：30

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 小曾戸委員長以下 7 名

事務局 千葉

議 事

実用油圧ポケットブック（2012 年版）について間違いを指摘するコメントがいくつか寄せられたのを機に、正誤表を発行するかどうかの検討を行った。誤字などの編集上の誤りのほか、基本回路のいくつかに誤りが認められたので、正誤表を発行することにした。

技術委員会空気圧部会第 510 回特許分科会

日 時 4 月 24 日（金）13：00 ～ 17：00

場 所 機械振興会館 B2-2 会議室

出席者 栗盛幹事以下 6 名

事務局 吉田

議 事

前回議事録確認後、継続審議中の案件 3 件について審議した。1 件については今までに提出された証拠文献をもとに見解書を依頼することとした。2 件については引き続き調査することとした。新しく 1 件について、審議することとした。

特許異議申立制度が復活したことにより特許分科会概要を修正することとした。

次回開催：5 月 29 日（金）機振会館 5S-3 会議室

技術委員会水圧部会

日 時 4 月 24 日（金）14：00 ～ 17：00

場 所 機械振興会館 B3-7 会議室

出席者 宮川部会長以下 13 名

事務局 大橋

議 事

宮川部会長の挨拶の後、議事に入った。

① IFPEX2014 来場者調査結果のまとめ

井口 GL から、市場マップの各領域に対して、得られた情報を分野・装置名、具体例、目的などに区分した結果が説明された。意見交換・検討の結果、装置名対応する具体例（機械名・工程名など）を一層明確にし、目的（狙い）についても ADS



のメリットと照合させ具体化することとなった。

## ② 今後の広報活動及びH.P. (ブログ)

村田 GL から、ブログの掲載状況、今後の予定、改善提案などが説明され、展示会出展状況、インタビュー形式の水圧関連各社紹介記事などを継続掲載し、ブログ活用の改善策として検索エンジンへの登録及びアクセス解析なども実施を検討することとした。

## ③ 平成 27 年度活動計画

部会長から、本年日刊工業新聞社が創立 100 周年を迎える。洗浄総合展もその記念の意味合いもあると思われ参加したらどうかとの提案があり、井口 GL を中心に検討を進めることとした。

本年は水圧標準化プロジェクトの取組み予定もあり、部会は広報活動を中心に進めることとした。平成 28 年度の 60 周年記念行事準備状況については事務局から概要を説明した。

## ④ その他

展示会情報として、食肉産業展 (KYB)、バリアフリー展 (ADS ムラカミ) 出展の報告があった。

事務局から 60 周年記念機関誌・技術編への執筆依頼を開始したこと、及び「フルードパワーの世界」デジタル版制作に際し機械・装置などの動画提供の協力要請があることなどを説明した。

次回開催：6 月 19 日 (金) 機振会館 B3-9 会議室

~~~~~  
広報・PR 事業  
~~~~~

## 60 周年記念式典準備委員会

日 時 4 月 7 日 (火)

場 所 機振会館 6-62 会議室

出席者 齋藤編集委員会委員長以下 6 名

事務局 藤原、大橋

### 議 事

事務局より平成 28 年度が当会の創立 60 周年になることからその 60 周年記念事業準備委員会を設置したいこと、委員長は、編集委員会委員長とし委員は編集委員会委員会社を中心に構成したいこと等を説明した。その後、齋藤編集委員長を 60 周年記念事業準備委員会の委員長に選任し議事を進めた。

配布資料に基づき、60 周年記念事業事務局原案及び参考として 50 周年記念行事実施結果の説明があった。事務局原案では、記念機関誌発行 (含む、誌上座談会)、「フルードパワーの世界」のデジタルブック版制作、記念式典及びシンポジウムの開催等があり、実施に際し実行委員会及び必要に応じワーキンググループを編成することが説

明された。意見交換・審議の結果、原案中のシンポジウム開催を除く 3 案を準備委員会案としてまとめ、4 月 17 日開催の理事会に提案することとなった。

## 第 88 回編集委員会

日 時 4 月 7 日 (火) 15:00 ~ 17:00

場 所 機振会館 6-62 会議室

出席者 齋藤委員長以下 16 名

事務局 藤原、大橋

### 議 事

齋藤委員長挨拶、新旧委員挨拶と出席者の自己紹介後、前畑主査の司会により議事に入った。

#### ① VOL. 30, NO. 2 (60 周年記念号)

事務局から 50 周年の目次と 60 周年の目次案にて記事構成を比較説明し、原稿管理表にて WG の油圧/空気圧/水圧各グループによる執筆候補者の選任結果を披露した。9 割程度は内諾が得られており当委員会での承認後、4 月中旬以降、寄稿依頼を開始し原稿締切は 12 月の予定。なお、別途 60 周年記念行事準備委員会で検討中の「誌上座談会」が実施となれば記事が追加となる。

顧問委員から、(1)油/空/水の 3 分野に限定しているが機能性流体を含めてもよいのではないか、(2)油圧では超高压を使用するタフロボティクスへの挑戦が始まっているので追加してはどうか、(3)医療介護分野は分離して医療分野で川嶋先生の記事を追加依頼してはどうか、などのコメントをいただき、WG にて検討することとした。なお、原稿数が約 50 件に達するため入稿原稿の確認は各グループと事務局で分担する。

#### ② VOL. 29, NO. 2 (春号) 進捗

計画通り 4 月 15 日に印刷完了の予定 (850 部)。

#### ③ VOL. 29, NO. 3 (夏号) 以降年間企画審議

夏号の目次記事はほぼ充足しているが、研究室訪問先が夏号・秋号とも未定。秋号は報告記事が現状未定だが事務局で講演会報告を検討中。各委員からの記事提案状況の報告は資料配布にとどめ、顧問委員から提案をいくつかいただいた。

#### ④ その他、懸案事項など

事務局から編集委員増員の提案をし、各委員から候補者を推奨していただくこととした。

次回開催：

- ・第 109 回 WG 6 月 10 日 (水) 機振会館 B3-7
- ・第 89 回委員会 10 月 30~31 日 (金-土) 予定

~~~~~  
中小企業関連事業/その他事業  
~~~~~

## 第1回中小企業委員会

日時 4月8日(水) 15:00～17:00

場所 機械振興会館 5S-1 会議室

出席者 十万委員長以下 14名

事務局 藤原、堀江、大橋

### 議事

#### 1. 講演

十万委員長の挨拶の後、経済産業省知的財産政策室・松本崇課長補佐から「技術流出防止・営業秘密強化について」の演題で講演会を開催した。

講演の概要は以下の通り。「近年、新興国における技術ニーズの高まりや情報技術の高度化などを背景に、日本企業から技術情報・営業秘密等が海外競合企業に流出し、不正に取得・使用されたとする事例が頻発し、その対策が喫緊の課題である。具体的例示としては、新日鐵住金の元社員、東芝の提携先、ベネッセの業務委託先、ソニーピクチャーズのサイバー攻撃等の漏えい事例は記憶に新しいところである。技術情報や営業秘密等の漏えいを取り締まる法律として「不正競争防止法」があり、今回はその体系、改正内容の概要説明、被害の実態調査結果、米国・韓国の状況、オープン・クローズ戦略による技術の秘匿化状況の紹介に続き、営業秘密管理指針の改定内容等営業秘密保護強化策等についての解説があった。最後にまとめとして中小企業に対するワンストップ支援体制の紹介があり、各企業の経営者は、知財・法務担当任せにせず部門横断的な課題と認識し、自らがリーダーシップを発揮して取り組むことの重要性が指摘された。」

注) ご講演内容の詳細は JFPA ホームページ・会員サイトにてご覧いただけます (<http://www.jfpa.biz/>よりログイン)。



講演中の松本崇講師

#### 2. 出席各社の現況報告

各社の景況感等について報告があった。

#### 3. 事務局、経産省から

- ① 事務局から、鉱工業生産指数、工作機械受注状況、日銀短観等について説明するとともに平

成 27 年・年度油圧・空気圧需要見通しについて概要を報告した。

- ② 経済産業省・産業機械課の服部嘉博課長補佐から、事業承継問題に関して中小企業庁発行の「事業引継ぎハンドブック」が紹介された。また、円安による原材料・エネルギーコストの増加分が価格に転嫁できないとの声が高まっている問題に対し、実態調査結果や転嫁対策パッケージ、具体的な施策等も紹介された。



<http://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/shoukei/2015/150407hikitugi2.pdf>

次回開催：7月8日(水) 川崎重工業(株)  
西明石工場

~~~~~  
振興対策事業  
~~~~~

#### 空気圧本部会

日時 4月21日(火) 15:00～16:30

場所 機振会館 6S-2 会議室

出席者 富田本部長以下 11名

事務局 藤原、唯根

### 議事

本部長の開会の挨拶の後、事務局から総需要委員会でもまとめた平成 27 年・年度の需要見通しについて概要を説明した。その後、最近の景況感等について意見交換を行うとともに会計報告を行い承認された。次に 6 月に開催する 総会について報告した。

次回開催：6月2日(火)～3日(水)

伊豆長岡「三養荘」



~~~~~  
会員ニュース  
~~~~~

☆本社の移転  
(正会員)  
(株)南武  
移転先  
〒236-0004  
神奈川県横浜市金沢区福浦2-8-16  
電話番号: 045-791-6161 (代表)  
FAX番号: 045-791-6162  
営業開始日: 平成27年5月7日(木)

☆本社の移転  
(賛助会員)  
(株)パシフィックソーワ  
移転先  
〒100-0005  
東京都千代田区丸の内1-4-1  
丸の内永楽ビルディング23階  
電話番号: 経営企画部 03-4243-1231  
総務部(代表) 03-4243-1234  
FAX番号: 以上2部 03-4243-1235  
鋳鋼部 03-4243-1240  
FAX番号: 03-4243-1245  
鍛鋼部 03-4243-1241  
FAX番号: 03-4243-1246  
機械部機械1課 03-4243-1222  
機械2課 03-4243-1221  
FAX番号: 以上2課 03-4243-1225  
営業開始日: 平成27年4月27日(月)

~~~~~  
工業会ニュース  
~~~~~

☆5月よりクールビズを導入  
当工業会では、本年も5月1日(木)~10月31日(金)までの間「クール・ビズ」を導入しますのでお知らせします。期間中の工業会開催の会議への出席については、軽装(ノーネクタイ・ノー上着等)でご出席下さい。  
なお、経済産業省からも同期間中は「クールビズ」を導入するとのことで、同省への訪問も「クールビズ」でよいとのことです。

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

\*平成27年  
☆5月14日(木)平成27年度 定時総会  
(場 所) 東京プリンスホテル  
2F マグノリアホール  
☆5月14日(木)総会後の懇親会  
(場 所) 東京プリンスホテル  
2F 鳳凰の間 東  
☆5月15日(金)懇親ゴルフ会  
(場 所) 程ヶ谷カントリー倶楽部  
OUT・IN各3組  
☆6月17日(水)標準化・技術合同委員会  
(場 所) 機振会館  
☆7月8日(水)第2回中小企業委員会  
(場 所) 川崎重工業(株)  
西明石工場  
☆11月5日(木)西日本支部総会  
(場 所) 未定  
☆11月6日(金)西日本支部合同懇親ゴルフ会  
(場 所) 未定

\*平成28年  
☆1月14日(木)年始会及び第72回理事会  
(場 所) 東京プリンスホテル

~~~~~  
4月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

(国際交流事業)  
油空圧国際サミット及びISC委員会  
開催日 4月14日(木)  
出席者 澤田敬支朗(タイヨーインタショナル)  
藤谷秀次 (JFPS)

(標準化事業/ISO対策事業)  
油空圧シール分科会  
開催日 4月10日(金)  
出席者  
主 査 川口 葵(阪上製作所)  
委 員 南 暢(日本バルカー工業)  
〃 中尾雅司(NOK)  
〃 國廣洋一(NOK)  
〃 方波見栄次(荒井製作所)  
〃 保科俊明(SMC)  
〃 太田正貴(阪上製作所)

〃 細川 敦 (三菱電線工業)  
〃 茨木満雄 (ニューエラー)  
〃 北村 剛 (油研工業)  
〃 斎藤俊一 (日東工器)  
〃 小畑博美 (JFPA)

#### 流量測定分科会

開催日 4月17日 (金)

出席者

主 査 妹尾 満 (SMC)  
委 員 高橋浩爾 (上智大学)  
〃 香川利春 (東京工業大学)  
〃 張 護平 (SMC)  
〃 長井敏和 (CKD)  
〃 齊藤 悠 (コガネイ)  
〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)

#### 空気圧バルブ分科会

開催日 4月22日 (水)

出席者

主 査 土澤聡明 (コガネイ)  
委 員 河野喜之 (甲南電機)  
〃 丸山哲郎 (SMC)  
〃 中古 弘 (TAIYO)  
〃 夏目清辰 (CKD)

#### 空気圧調質機器分科会

開催日 4月24日 (金)

出席者

主 査 小田敏裕 (甲南電機)  
委 員 三村 岳 (SMC)  
〃 郡司 浩 (コガネイ)  
〃 土岐真人 (コガネイ)  
〃 田中尚志 (CKD)  
〃 高橋隆道 (甲南電機)

#### 油圧ポンプ・モータ分科会

開催日 4月27日 (月)

出席者

主 査 馬場賢司 (ボッシュ・レックスロス)  
委 員 中辻 順 (ダイキン)  
〃 吉成考正 (東京計器)  
〃 高橋正和 (日立建機)  
〃 平出博一 (油研工業)  
〃 堺 隆二 (川崎重工業)  
〃 黒川道夫 (イトン)  
〃 山田健治 (不二越)  
〃 向井信雄 (島津製作所)

(標準化事業/規格事業)

#### 制御技術分科会

開催日 4月16日 (木)

出席者

主 査 田中 広 (CKD)  
委 員 金子幸夫 (コガネイ)  
〃 高橋隆通 (甲南電機)  
〃 楊 春明 (SMC)  
〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)  
〃 鈴木一成 (妙徳)

#### (技術調査事業)

#### 実用油圧ポケットブック編集委員会

開催日 4月15日 (水)

出席者

委員長 小曾戸博 (旧タカコ)  
委 員 渋谷文昭 (東京計器)  
〃 宮本 彰 (川崎重工業)  
〃 伊藤 誠 (川崎重工業)  
〃 成田 晋 (KYB)  
〃 兼松直弘 (MORESCO)  
〃 新井 太 (MORESCO)

#### 技術委員会空気圧部会第510回特許分科会

開催日 4月24日 (金)

出席者

幹 事 栗盛宏樹 (アズビル TACO 代理)  
委 員 井野雅康 (SMC)  
〃 出澤 大 (クロダニューマティクス)  
〃 赤松直人 (甲南電機)  
〃 佐藤 浩 (コガネイ)  
〃 甲山登紀夫 (CKD)

#### 技術委員会水圧部会

開催日 4月24日 (金)

出席者

部会長 宮川新平 (KYB)  
委 員 大林義博 (KYB)  
〃 井口 務 (廣瀬バルブ工業)  
〃 村田秀紀 (阪上製作所)  
〃 鳥居良介 (阪上製作所)  
〃 細井耕平 (堀内機械)  
〃 村上康裕 (ADSムラカミ)  
〃 内田 晃 (日本アキュムレータ)

#### (広報・PR事業)

#### 60周年記念式典準備委員会

開催日 4月7日 (火)

出席者

委員長 齋藤圭介 (KYB)  
委 員 国保雅文 (CKD)

- 〃 水 悟史 (川崎重工業)
- 〃 川崎久士 (コガネイ)
- 〃 寺田 稔 (ダイキン工業)
- 〃 阿部康雄 (東京計器)

第 88 回編集委員会

催日 4月7日 (火)

出席者

委員長 齋藤圭介 (KYB)

副委員長 水野純一 (CKD)

WG 主査 前畑一英 (KYB)

顧問 北川 能 (東京工業大学)

〃 小山 紀 (明治大学)

〃 田中 豊 (法政大学)

委員 浦井隆宏 (ポッシュ・レックスロス)

〃 大久保俊克 (阪上製作所)

〃 加藤猛美 (コガネイ)

〃 仲野崇行 (コガネイ)

〃 永井茂和 (SMC)

〃 宮 能治 (KYB)

〃 吉村知久 (川崎重工業)

〃 豊田敏久 (川崎重工業)

〃 神戸孝典 (甲南電機)

〃 諸橋 博 (東京計器)

(中小企業関連事業／その他事業)

第 1 回中小企業委員会

開催日 4月8日 (水)

出席者

委員長 十万幹雄 (神威産業)

副委員長 松井正彦 (マツイ)

委員 松田庄三郎 (光陽精機)

〃 高野和治 (光陽精機)

〃 向 恭男 (大生工業)

〃 澤田敬之 (タイヨーインタナショナル)

〃 真嶋利博 (タカコ)

〃 野村伯英 (南武)

〃 杉村登夢 (日本アキュムレータ)

〃 廣瀬一輝 (廣瀬バルブ工業)

〃 高橋征爾 (富士エンジニアリング)

〃 増田堅太郎 (増田製作所)

〃 西川治子 (理研精機)

〃 服部嘉博 (経済産業省)

(振興対策事業)

空気圧本部会

開催日 4月21日 (火)

出席者

委員長 富田勝憲 (SMC)

副〃 湯原真司 (CKD)

幹事 中村賢次 (ニューエラー)

会計 安藤一義 (クロダニューマティクス)

委員 柳沢茂美 (オリオン機械)

〃 長谷川靖 (甲南電機)

〃 川崎久士 (コガネイ)

〃 渡部隆之 (TAIYO)

〃 河崎拓夫 (タイヨーインタナショナル)

〃 澤田敬之 (タイヨーインタナショナル)

〃 平井研三 (日本精器)

シリンダ部会

開催日 4月22日 (水)

出席者

部会長 河合 崇 (KYB)

委員 福田賢二 (堀内機械)

〃 師星 光 (油研工業)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<4月>

7日 (火)

- ・広報・PR (委) 60周年記念準備委員会

- ・広報・PR (委) 第88回編集委員会

8日 (水)

- ・中小企業 (委)

9日 (水) ~17日 (金)

- ・国際交流 (委) ハノーバメッセ視察団派遣

10日 (木)

- ・ISO (委) シール分科会

14日 (火)

- ・平成26年度事業・経理に関する監査／監事

- ・国際交流 (委) 国際油空圧サミット及びISC委員会

15日 (水)

- ・技術 (委) 油圧ポケットブック分科会

16日 (木)

- ・標準化 (委) 制御技術分科会

17日 (金)

- ・第74回理事会

- ・標準化 (委) 流量測定分科会

21日 (火)

- ・振興対策 (委) 空気圧本部会

22日 (水)

- ・標準化 (委) 空気圧バルブ分科会

- ・振興対策 (委) シリンダ部会

24日 (金)

- ・技術 (委) 水圧部会

・技術（委）空気圧部会第 510 回特許分科会

・ISO（委）空気調質機器分科会

27 日（月）

・ISO（委）ポンプ・モータ分科会

---

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

---